

令和元年 10 月 25 日 第 1 回 香川地域メディア連携懇談会

懇談会概要

大規模な洪水の発生時が四国全域に起こることを想定し、堤防整備等のハード対策をしっかりと取り組むことに加えて、河川監視カメラ等を活用し、メディアを通して住民の方々により切迫感のある画像を伝え避難行動に結び付けていただくかについて意見交換を行いました。

参加機関

(株)四国新聞社

(株)毎日新聞社 高松支局

(株)読売新聞社 高松支局

(株)日本経済新聞社 高松支局

(株)共同通信社 松山支局

(株)山陽新聞社 高松支局

香川テレビ放送網(株)

エフエムサン(株)

三豊ケーブルテレビ放送(株)

(株)ケーブルメディア四国

さぬき市

中讃ケーブルビジョン(株)

西日本放送(株)

(株)瀬戸内海放送

山陽放送(株) 四国支社

岡山放送(株) 四国支社

テレビせとうち(株) 四国支社

日本放送協会高松放送局

(株)エフエム香川

FM 高松コミュニティ放送(株)

高松地方気象台

香川県

国土交通省 四国地方整備局

国土交通省 香川河川国道事務所

国土交通省 四国技術事務所

主なご意見

- 危険を周知するには映像が第一である。緊急時でもスムーズに映像をいただきたい。
- 住んでいるところの状況や、特に危険なエリアを強調して伝える体制が必要。
- 避難しない方のバイアスを取り払う情報をマスコミに提供して欲しい。
- 具体的に危機感を高めるには香川特有の情報の打ち出しができれば伝わりやすい。
- わかりやすい言葉で、平常時から「効果」と「限界」を伝えていければと思う。等

開催状況

